

2022 年度

第 33 回

ミズノ
スポーツライター賞

募 集 要 項

主 催

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

<https://corp.mizuno.com/zaidan>

選 考

ミズノ スポーツライター賞選考委員会

[主 旨]

スポーツには、する楽しみ、観る楽しみ、語る楽しみ、読む楽しみがあります。

それを支えるのは、スポーツの出来事を集め分析し情報・知識に変え、スポーツを伝え知らせるメディアの存在があります。

さて、未だ収まらない新型コロナ禍によって、スポーツの世界は正常化の見通しが立たない混迷の中にありますが、海の向こうから送られてくる『オオタニサン』の活躍はスポーツを観る者のところを震わせ、歓喜を与えています。

いま、スポーツの世界ではAIカメラの出現によって、スポーツ中継映像が革新的に変わりました。アスリートたちのプレーや演技を様々な角度から映し撮る自由視点映像が、視聴者の視点に深度を与え、視線の先にある視野を広げています。

一方、活字メディアはアスリート達の心理や戦いのプロセスを丹念に解きほぐし、その真相や全貌をドキュメントとして伝えてくれます。それは、カメラ映像では表現できない人間の繊細で深遠な内面を、想像力と創造力によって掘り起こされた読むスポーツ文化です。

テレビがスポーツの姿を加速度的に変貌と変質させてきた現在、活字メディアには客観的な報道性(記録性)、スポーツに迎合しない批評性、スポーツの世界を豊かに描く知識文化を、よりいっそう高めることが求められています。

今年度で創設33周年を迎える「ミズノスポーツライター賞」は、「スポーツを通して社会を照らす」スポーツライターの業績を顕彰する賞として、その使命はいよいよ大きなものとなってきています。本年も21世紀のスポーツ界とスポーツ文化のさらなる発展に寄与することを目的として、スポーツ報道とスポーツ・ノンフィクションに関する優秀な作品を広く公募いたします。

[対象領域]

【2022年1月1日～12月31日】に発行・出版・発表されたもので、主として新聞・雑誌・単行本等に掲載された個人もしくはグループで書かれたスポーツ報道、スポーツ評論、スポーツ・ノンフィクションなど。ただし、インターネット上のウェブサイトなどで発表されたもの、社内報や広報誌、フリーペーパー等一般に販売されていないもの、一般の者が入手不可能な機関誌的なもの、翻訳書や専門学術書・誌、研究紀要等に掲載されたいわゆる学術論文はこの対象からは除く。

[表彰内容]

★最優秀作品 1点(トロフィー / 賞金100万円)

☆優秀作品 2点(トロフィー / 賞金 50万円)

<第1回/90年度受賞作品> ※敬称略・順不同

★『ヒマラヤを駆け抜けた男』……………佐瀬 稔(発行:東京新聞出版局)

★『衝撃～東独スポーツ王国の秘密』……………長谷川公之・山本 茂(発行:テレビ朝日)

★『アジアスポーツの新しい風』……………毎日新聞東京本社運動部(掲載:毎日新聞朝刊)

★『たうんステージ』……………京都新聞社運動部(掲載:京都新聞夕刊)

<第2回/91年度受賞作品>

★『スポーツ山脈』および『われら熱中派』……………鷹野春彦/信濃毎日新聞社編集委員(掲載:信濃毎日新聞朝刊)

★『メディアの群像』……………橋本一夫(掲載:大修館書店刊「月刊体育科教育」)

★『帰らざる季節～中嶋悟 F1 五年目の真実』……………吉井妙子(発行:文藝春秋)

★『父の背番号は16だった』……………川上貴光(発行:朝日新聞社)

★『タイガー・モリと呼ばれた男～幻の剣士・森寅雄の生涯』……………早瀬利之(発行:スキージャーナル社)

<第3回/92年度受賞作品>

★『バルセロナ五輪』連載企画報道……………毎日新聞社五輪取材チーム(掲載:毎日新聞朝刊)

★『DAY'S』五輪コラム……………後藤新弥/日刊スポーツ新聞社(掲載:日刊スポーツ)

★『ニュースの目』……………浅田修司/共同通信社(掲載:大修館書店刊「月刊体育科教育」)

★『スポーツウィークリー』……………秋田魁新報社社会部(掲載:秋田魁新報夕刊)

★『リングサイド・マザー～私とボクシングの半世紀』……………松永喜久(発行:河出書房新社)

<第4回/93年度受賞作品>

★『野球とクジラ～カートライト・万次郎・ベースボール』……………佐山和夫(発行:河出書房新社)

★『女たちのプレーボール～幻の女子プロ野球青春物語』……………桑原稲敏(発行:風人社)

★『ビバ! サッカー』連載……………牛木素吉郎(掲載:ベースボール・マガジン社刊「サッカーマガジン」)

★『もうひとつの風景』連載……………佐藤次郎/東京新聞社(掲載:東京新聞スポーツ面)

★『スポーツすぺしゃる&たうんワイド』連載……………北海道新聞運動部・社会部(掲載:北海道新聞夕刊)

<第5回/94年度受賞作品>

★『広島アジア大会』連載企画報道……………共同通信社広島アジア大会取材班

★『SPORTSにいがた』連載企画報道……………新潟日報社報道部・スポーツ担当(掲載:新潟日報夕刊)

★『ウォッチング<スポーツの広場>』連載……………谷口源太郎(掲載:東京新聞夕刊)

★『リターンマッチ』……………後藤正治(発行:文藝春秋)

<第6回/95年度受賞作品>

★『世界体操鯖江大会』報道・連載……………福井新聞社編集局 世界体操取材班

★『スポーツ・あ・い～ブラウン管からみたスポーツ』……………杉山 茂(掲載:日本体育協会「スポーツジャーナル」)

★『世紀末スポーツと切り結ぶ～報道者の自己批判』……………大野 晃(掲載:大修館書店刊「月刊体育科教育」)

★『競走馬の文化史～優駿になれなかった馬たちへ』……………青木 玲(発行:筑摩書房)

★『球児たちの復活』……………佐藤光房(発行:あすなろ社)

<第7回/96年度受賞作品>

- ★『オリンピック新世紀』連載企画報道……………読売新聞社東京運動部取材班
- ★『断層』『叫び』ほか……………金子達仁(掲載:文藝春秋刊「ナンバー」)
- ★『日韓キックオフ伝説～宿命の対決に秘められた「恨」と「情」』……………大島裕史(発行:実業之日本社)
- ★『汚れた金メダル～中国ドーピング疑惑を追う』……………松瀬 学(発行:文藝春秋)

<第8回/97年度受賞作品>

- ★『部活動は今』連載企画報道……………埼玉新聞社運動部 部活動取材班
- ★『夢フロンティア・スポーツ大国の実像』
『ユーロスタジアム・欧州スポーツ新時代』
『キャンパススタジアム』連載企画報道……………読売新聞社東京運動部取材班
- ☆『夢をつなぐ～全盲の金メダリスト河合純一物語』……………澤井希代治(発行:ひくまの出版)

<第9回/98年度受賞作品>

- ★『原色のアジア』連載企画報道……………読売新聞社東京運動部
- ★『志村正順のラジオ・デイズ～〈スポーツの語り部〉が伝えた昭和』……………尾嶋義之(発行:洋泉社)
- ★『夢、未だ盡きず～平木信二と吉岡隆徳』……………辺見じゅん(発行:文藝春秋)
- ★『6月の軌跡～98フランスW杯日本代表39人全証言』……………増島みどり(発行:文藝春秋)

<第10回/99年度受賞作品>

- ★『魔術師』……………立石泰則(発行:文藝春秋)
- ☆『血と知と地』……………吉川 良(発行:メディアム出版社)
- ☆『カープ球団創設50年史』企画連載報道……………中国新聞社運動グループ カープ50年取材班

<第11回/00年度受賞作品>

- ★『モンゴル野球青春記』……………関根 淳(発行:太田出版)
- ☆『サッカー監督という仕事』……………湯浅健二(発行:新潮社)
- ☆『アマススポーツ NOW』……………中国新聞社編集局運動グループ

<第12回/01年度受賞作品>

- ☆『いつもキャッチボールが教えてくれた』……………佐藤倫朗(発行:東洋経済新報社)
- ☆『知と熱 日本ラグビーの改革者・大西鐵之祐』……………藤島 大(発行:文藝春秋)
- ☆『仕事の風景 球場去りし後』……………森 哲志 /朝日新聞東京本社社会部(掲載:朝日新聞)

<第13回/02年度受賞作品>

- ★『ヒディング・コリアの真実』……………慎 武宏(発行:TBSブリタニカ)
- ☆『チュックダン!～在日朝鮮蹴球団の物語』……………河崎三行(発行:双葉社)
- ☆『2002年よさこい高知国体～高知で変わる高知が変わる』……………高知新聞社2002年よさこい高知国体取材班

<第14回/03年度受賞作品>

- ★『拳の漂流「神様」と呼ばれた男ベビー・ゴステロの生涯』……………城島 充（発行:講談社）
- ☆『巨人軍最強の捕手～伝説のファイター吉原正喜の生涯を追う』……………澤宮 優（発行:晶文社）
- ☆『「高知競馬」という仕事』……………高知新聞社社会部

<第15回/04年度受賞作品>

- ☆『アラビアン・ホースに乗って～ふたりで挑んだ遙かなるテヴィス』……………蓮見明美（発行:洋泉社）
- ☆『五輪の歩んだ道 巨大イベントの108年』……………毎日新聞東京本社運動部 五輪取材班

<第16回/05年度受賞作品>

- ★『オシムの言葉』……………『……………木村元彦（発行:集英社インターナショナル）
- ☆『甲子園の遺言』伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯……………門田隆将（発行:講談社）
- ☆『球界再編は終わらない』……………日本経済新聞社編

<第17回/06年度受賞作品>

- ★『南の島の甲子園～八重山商工の夏』……………下川裕治（発行:双葉社）
- ☆『ラストサムライ～片目のチャンピオン武田幸三』……………森沢明夫（発行:角川書店）

<第18回/07年度受賞作品>

- ★『甲子園が割れた日～松井秀喜5連続敬遠の真実』……………中村 計（発行:新潮社）
- ☆『勝つことのみが善である～宿澤広朗全戦全勝の哲学』……………永田洋光（発行:ぴあ）
- ☆『年間企画「アスリート争奪」』……………毎日新聞社運動部

<第19回/08年度受賞作品>

- ★『ケニア！ 彼らはなぜ速いのか—The Secret of Kalenjin Runners』……………忠鉢信一（発行:文藝春秋）
- ☆『吉田沙保里 119連勝の方程式』……………布施鋼治（発行:新潮社）
- ☆『デットマール・クラマー—日本サッカー改革論』……………中条一雄（発行:ベースボール・マガジン社）

<第20回/09年度受賞作品>

- ★『フットボールの犬—欧羅巴1999—2009』……………宇都宮徹亮（発行:東邦出版）
- ☆『日本レスリングの物語』……………柳澤 健（掲載:ファイト&ライフ 発行:フィットネススポーツ）

<第21回/10年度受賞作品>

- ★『幻の甲子園 昭和十七年の夏 戦時下の球児たち』……………早坂 隆（発行:文藝春秋）
- ☆『Rの輪 広陵野球の美学』……………山田良純（発行:南々社）
- ☆『心の聖地—スポーツ、あの日から—』……………共同通信社 編集委員室

< 第 22 回 / 11 年度受賞作品 >

- ☆『TOKYOオリンピック物語』……………野地秩嘉(発行:小学館)
- ☆『最後の王者 MotoGP ライダー・青山博一の軌跡』……………西村 章(発行:小学館)
- ☆『独立リーグの現状 その明暗を探る』……………喜瀬雅則 / 産経新聞大阪本社 運動部

< 第 23 回 / 12 年度受賞作品 >

- ★『柔の恩人 「女子柔道の母」ラスティ・カノコギが夢見た世界』……………小倉孝保(発行:小学館)
- ☆『「弱くても勝てます」 開成高校野球部のセオリー』……………高橋秀実(発行:新潮社)
- ☆『北緯43度の雪 もうひとつの中国とオリンピック』……………河野 啓(発行:小学館)

< 第 24 回 / 13 年度受賞作品 >

- ★『アイスタ임 鈴木貴人と日光アイスバックスの1500日』……………伊東武彦(発行:講談社)
- ☆『アメリカの少年野球こんなに日本と違ってた シャイな息子と泣き虫ママのびっくり異文化体験記』……………小国綾子(発行:径書房)
- ☆『国立競技場の100年 明治神宮外苑から見る日本の近代スポーツ』……………後藤健生(発行:ミネルヴァ書房)

< 第 25 回 / 14 年度受賞作品 >

- ★『洲崎球場のポール際 プロ野球の「聖地」に輝いた一瞬の光』……………森田 創(発行:講談社)
- ☆『球童 伊良部秀輝伝』……………田崎健太(発行:講談社)
- ☆『五輪の哲人 大島謙吉物語』……………滝口隆司 / 毎日新聞東京本社運動部

< 第 26 回 / 15 年度受賞作品 >

- ★『ベルリンの奇跡 日本サッカー煌きの一瞬』……………竹之内響介(発行:東京新聞)
- ☆『広告を着た野球選手 史上最弱ライオン軍の最強宣伝作戦』……………山際康之(発行:河出書房新社)

< 第 27 回 / 16 年度受賞作品 >

- ★『スポーツ新考 地域戦略を探る』……………山陽新聞社 スポーツ企画取材班
- ☆『一投に賭ける 溝口和洋、最後の無頼派アスリート』……………上原善広(発行:角川書店)
- ☆『サッカーと愛国 SHOW RACISM THE RED CARD!』……………清 義明(発行:イースト・プレス)

< 第 28 回 / 17 年度受賞作品 >

- ☆『中南米野球はなぜ強いのか ドミニカ、キューソー、キューバ、ベネズエラ、MLB、そして日本』……………中島大輔(発行:亜紀書房)
- ☆『神は背番号に宿る』……………佐々木健一(発行:新潮社)

< 第 29 回 / 18 年度受賞作品 >

- ★『氷上のドリアン・グレイ 美しき男子フィギュアスケーターたち』……………鈴木ふさ子(発行:アーツ アンド クラフツ)
- ☆『挑戦者たち 男子フィギュアスケート平昌五輪を超えて』……………田村明子(発行:新潮社)

☆『東欧サッカークロニクル モザイク国家に渦巻くサッカーの熱源を求めて』……長束恭行(発行:KANZEN)

<第30回/19年度受賞作品>

★『国境を越えたスクラム ラグビー日本代表になった外国人選手たち』……山川 徹(発行:中央公論社)

☆『那須雪崩事故の真相 銀嶺の破断』……阿部幹雄(発行:山と溪谷社)

<第31回/20年度>

*新型コロナウイルス感染拡大により見送り

<第32回/21年度>

★『嫌われた監督 落合博満は中日をどう変えたのか』……鈴木 忠平(発行:文藝春秋)

[選考委員]

委員長 河野 通和	前「ほぼ日の学校長」、『中央公論』『婦人公論』『考える人』元編集長
委員 上治 丈太郎	(一社)日本スポーツツーリズム推進機構 理事
長田 渚左	ノンフィクション作家
杉山 茂	スポーツプロデューサー/元NHKスポーツ報道センター長
ヨーコ ゼッターランド	(公財)日本スポーツ協会常務理事/スポーツキャスター
水野 英人	(公財)ミズノスポーツ振興財団副会長

[応募要領]

作品の主旨および筆署名(担当記者)あるいは担当班とそのメンバー名、連絡先を記載の上、新聞・雑誌は作品の原紙1部+コピー3セット(A4サイズ/必要に応じて他サイズも可)、書籍は3冊を同封の上、お送り下さい。応募に際しご不明な点がございましたら選考事務局までお問合せください。

● 締め切り

2023年1月10日(火)必着

● 発表

2023年3月7日(火)…予定

● 表彰式

2023年4月20日(木)…予定

[応募先・お問合せ先]

「ミズノ スポーツライター賞」選考事務局

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2-16-17 (代々木フラット 4F)

スポーツデザイン研究所内

TEL : 03 (3377) 4858 / FAX : 03 (3377) 5028

<http://www.sportsnetwork.co.jp/>

e-mail : award_msw@sportsnetwork.co.jp